

第100期 報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

株式会社 オーバル

証券コード：7727

株主の皆様へ



代表取締役社長
谷本 淳

経営理念

**確かな計測技術で、新たな価値を創造し、
豊かな社会の実現に貢献します。**

“確かな計測技術で”

-「流体計測技術」から将来を見据えた新たなビジネス拡大の可能性として、「計測技術」まで事業領域を拡大

“新たな価値を創造”

-お客様に付加価値の高いセンサ・ソリューション、そしてサービスを提供

“豊かな社会の実現に貢献”

-地球温暖化問題への取り組み。カーボンニュートラル、水素、アンモニア、メタネーションなどへの関連商品を提供し、再生エネルギーのサプライチェーンに貢献
-SDGsの17の目標：「産業界のマザー・ツール」メーカーとして、商品を通して社会の営み、あらゆる産業を下支え

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、企業活動のデジタル化や働き方の多様化が進み、また感染症という新たなリスクが企業にとって持続可能性への対応をより一層考えるきっかけとなったと感じています。そんな中、事業活動を通じて社会の課題解決に貢献することで、企業価値を向上すべく、新経営理念を策定いたしましたのでお知らせいたします。

第100期における当企業グループの事業概況につきまして、ここにご報告申し上げます。当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による影響に加え、ロシアによるウクライナ軍事侵攻などの地政学的リスクが高まっており、また、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響のほか、半導体不足、円安や資源価格高騰に起因する原材料・燃料コストの上昇を背景に設備投資が抑制され、厳しい状況が続いております。このような経営環境のもと、当企業グループは、中期経営計画「ADVANCE 2.0-2021」の最終年度として「新製品」「グローバル」「新規事業」の拡大戦略を掲げ、業績の向上による継続的成長を目指し、一方で「収益性向上」を経営基盤強化の基本方針とし、現在の厳しい経済環境に左右されにくい強固な経営基盤を構築するため、効率的な組織の改編および最適化にも取り組んでまいりました。当企業グループは脱炭素社会に向けて、収益基盤の多様化とともに、商品・技術の提供を通じた貢献にも取り組んでおります。当連結会計年度では、水素と同様に燃焼時にCO₂を排出しないことから、カーボンニュートラルの実現に向けた発電等に用いる脱炭素燃料として期待されているアンモニアの計測に対応した熱式流量計、コリオリ流量計、渦流量計、容積流量計、タービン流量計などの多彩な流量計のラインアップを強みに拡販してまいりました。また、創業から70年以上の経験と知見や国内最高レベルの校正設備を活用し、お客様のご使用条件に合わせたメンテナンスや高精度・高品質な校正サービスを提供し、当社商品のみならず、他社製商品の校正サービスも提供するなど、ものづくりを支えるべく、お客様の課題解決に取り組んでまいりました。

その結果、受注高は13,028百万円（前連結会計年度比22.5%増）、売上高は11,144百万円（同7.8%増）となりました。利益面は売上高の増加に伴い大きく改善したほか、原材料費や物流費の値上がりの影響を最小限にとどめるために当企業グループ内のサプライチェーン見直しを実施していることや、経費管理の徹底などにより、営業利益は276百万円（前連結会計年度は営業損失110百万円）、経常利益は469百万円（前連結会計年度は経常利益41百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は286百万円（前連結会計年度比888.4%増）といずれの利益におきましても前連結会計年度を大きく上回る結果となりました。

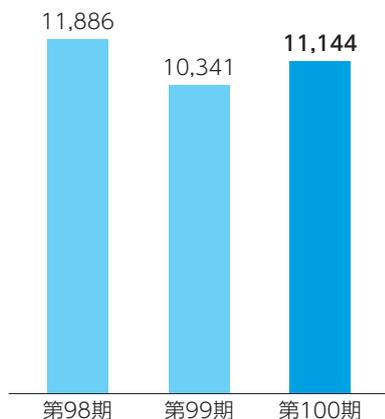
なお、当期の配当は、中間配当の1株当たり3円と合わせ、年間配当では1株6円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が見通せないことに加え、ロシアのウクライナ軍事侵攻、また、原材料・燃料コストの上昇による企業収益の悪化により、経営環境は厳しい状況が続くことが予想されます。このような状況のもと、当企業グループは2022年3月に公表した新中期経営計画「Imagination2025」（2023年3月期から2025年3月期）に基づき、厳しい経営環境をむしろチャンスと前向きに捉えることで、さらなる企業成長に繋げ、企業価値の向上を目指してまいります。

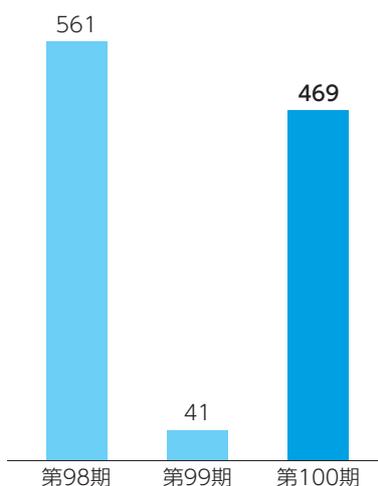
株主の皆様におかれましては、何卒ご理解をいただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第100期連結決算ハイライト

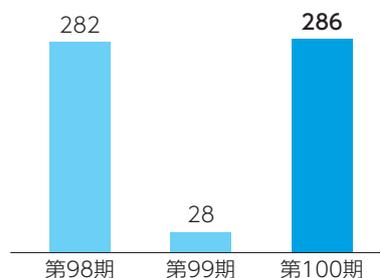
売上高 (百万円)



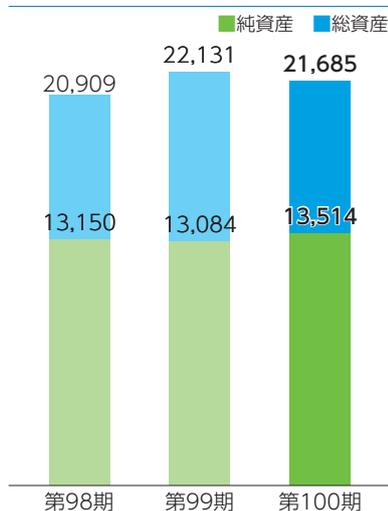
経常利益 (百万円)



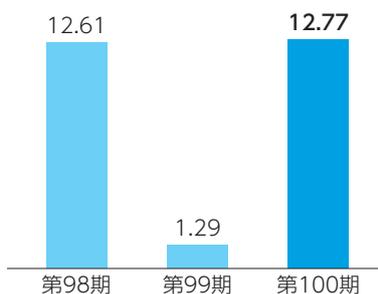
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



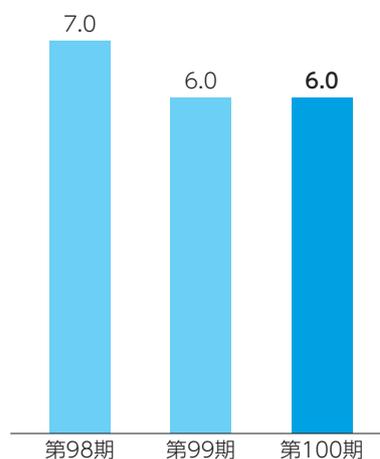
純資産・総資産 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



1株当たり配当金 (円)



トピックス

▶▶【新製品紹介】業界初！「耐圧防爆形」ミスター省エネ*対応 無線通信ユニット

2020年6月より、セイコーインスツル株式会社製の無線センサーネットワーク「ミスター省エネ」を活用した無線ソリューションを提供しておりますが、2022年4月に、「耐圧防爆形」ミスター省エネ対応 無線通信ユニットを販売開始しました。

本製品は防爆構造を必要とする危険場所において、汎用的な耐圧防爆機器と組み合わせることにより、無線通信による現場データの収集を実現します。

シリーズとして、流量パルス入力ノード、アナログ入力ノード、温度入力ノード、ルーター（中継器）、Modbus/RTUノードの5機種をラインアップしています。

※「ミスター省エネ」はセイコーインスツル株式会社の登録商標です。



「耐圧防爆形」ミスター省エネ*対応
無線通信ユニット

▶▶ 新中期経営計画 概要

◇新中期経営計画がスタートしました。

当企業グループは、2023年3月期から2025年3月期までの3か年を対象とした新たな中期経営計画を策定し、2022年4月よりスタートいたしました。経営理念“確かな計測技術で、新たな価値を創造し、豊かな社会の実現に貢献します。”に基づき、当企業グループの企業活動を通じて、これまで培ってきた技術をより一層深化させることにより、持続的な社会の実現に貢献する商品およびサービスを提供し、アジアNo. 1のセンシング・ソリューション・カンパニーを目指し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

最終年度の連結業績目標は、売上高は130億円、経常利益は7.0億円、親会社株主に帰属する当期純利益は3.8億円、ROEは3.0%を目指します。

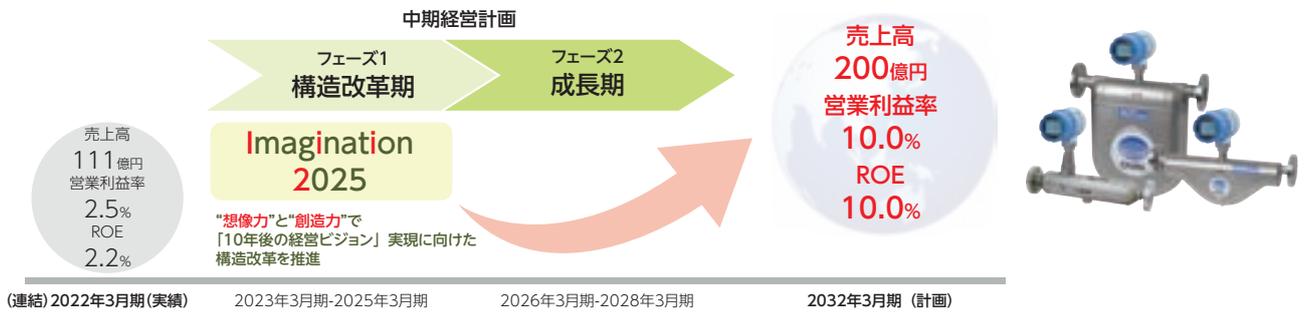
▶ 中長期経営ビジョン

中期経営計画は以下の経営ビジョンをもとに取り組んでまいります。

中長期経営
ビジョン

アジアNo. 1のセンシング・ソリューション・カンパニーへ

※アジアNo.1=アジアに本社（資本）が所在する企業のNo.1



▶ 中長期業績計画

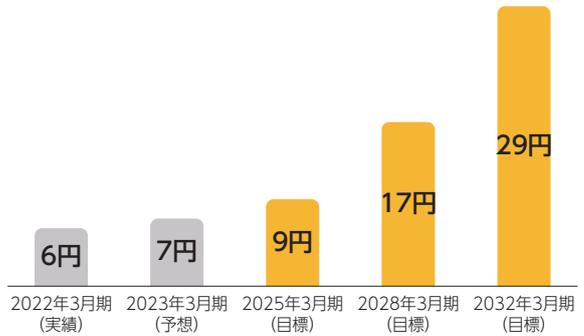
連結業績計画
(10年後)

売上高	200億円	経常利益率	10%以上	ROE	10%以上
-----	-------	-------	-------	-----	-------

単位：億円

	2022年3月期 (実績)	2025年3月期 (計画)	2028年3月期 (計画)	2032年3月期 (計画)
売上高	111	130	150	200
経常利益	4.6	7.0	12.5	20.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	2.8	3.8	7.7	12.8
ROE	2.2%	3.0%	6.0%	10.0%

配当計画



▶ 基本戦略サマリー

中期経営計画



事業環境の変化を的確に捉え、『既存事業の変革』と社会の課題を解決するための『イノベーション』を実現し、企業価値を高める戦略。

現在の経営基盤の見直しや改善と、時代の変化に即した新しい組織・運用の導入により、強靱で社会から信頼される経営基盤を構築する戦略。

サステナビリティ推進戦略

重要課題	関連するSDGs
気候変動対策	11 持続可能な都市とコミュニティ、13 気候変動対策
IoTやAI社会に向けて	9 持続可能な産業と革新、12 持続可能な消費と生産
多様な人々が ありのままに活躍 できる社会へ	5 ジェンダー平等、10 人や国の不平等の削減
働きがいのある 職場づくり	3 持続可能なエネルギー、8 豊かさと公正な働き

会社概要／株式関連情報 (2022年3月31日現在)

会社の概要

商号 株式会社オーバル (英文商号: OVAL Corporation)
代表者 谷本 淳
創業 1949年(昭和24年)5月10日
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
資本金 22億円
事業内容 1. 工業用計測機器および関連機器の製造・販売
2. 計装および制御・管理装置の製造・販売
3. 工業用計測機器および装置に関するメンテナンス業務、流量計の検定業務
従業員数 669名(連結)
本社 〒161-8508 東京都新宿区上落合三丁目10番8号
Tel.03-3360-5009 (経営企画室)
主要事業所・営業所 横浜事業所、東北、神奈川、中部、大阪、岡山、九州営業所
子会社 株式会社山梨オーバル、オーバルアシスタンス株式会社、株式会社宮崎オーバル(以上国内)、HEFEI OVAL INSTRUMENT CO., LTD.、HEFEI OVAL AUTOMATION CONTROL SYSTEM CO.,LTD.(以上中国)、OVAL ASIA PACIFIC PTE. LTD.(シンガポール)、OVAL TAIWAN CO.,LTD.(台湾)、OVAL ENGINEERING INC.(韓国)、OVAL ENGINEERING SDN. BHD.(マレーシア)、OVAL Corporation of America(米国)

株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式の総数 22,404,009株
(自己株式3,775,991株を除く)
株主数 5,559名

大株主の状況

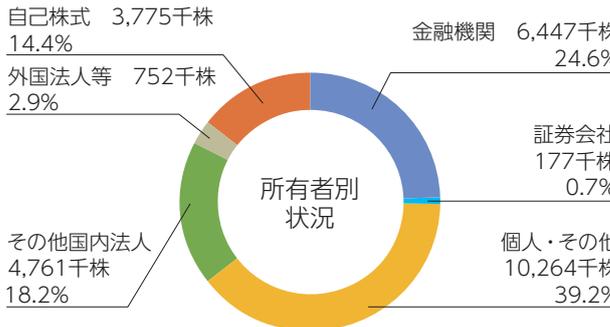
株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,100	9.4
明治安田生命保険相互会社	1,900	8.5
東京計器株式会社	1,309	5.8
轟産業株式会社	1,091	4.9
株式会社三笠	811	3.6
日本生命保険相互会社	691	3.1
CEPLUX-ERSTE GROUP BANK AG (CLIENT ACCOUNT)	593	2.7
横河電機株式会社	512	2.3
損害保険ジャパン株式会社	422	1.9
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	421	1.9

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

取締役および執行役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役社長	谷本 淳	執行役員	今井 信介
取締役兼執行役員	浅沼 良夫	執行役員	市村 隆博
取締役兼執行役員	加藤 芳樹	執行役員	山森 康一
取締役兼執行役員	新國 誠治	執行役員	田中 直人
取締役兼執行役員	小熊 仁		
社外取締役 常勤監査等委員	池上 幸定		
社外取締役 監査等委員	寺尾 吉哉		
社外取締役 監査等委員	松本 正		

株式の分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日 3月31日および中間配当を行うときは9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
Tel.0120-232-711 (通話料無料)
公示の方法 電子公告 URL <https://www.oval.co.jp> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 オーバル

